沖縄出身の若手女性経営者が手掛ける
五感に響くフレグランス「Parfum Ryukyu」の販売を開始
～「沖縄への還元」「沖縄の文化」を形に～

株式会社いいにおい（本社：沖縄県国頭郡恩納村、代表取締役：山城遥奈）が10月24日
より、オリジナルフレグランスの商品開発・販売を開始したことをお知らせいたします。

●株式会社いいにおい
株式会社いいにおい（登記：2021年10月1日
）は、人間の五感で唯一“大脳辺縁系・海馬”に働きかける「嗅覚」に着目し、“一生想い出に残る匂い”をコンセプトにフレグランス製造業を開始。フランス・パリ在住の現役調香師のパフューマリースクール、大手化粧品メーカーで香りの研究・開発に従事した専門家が開設するパフューマリースクールにて調香のノウハウを学んだフレグランスコーディネーター在中の元、企業やユーザーが理想とする「香りのイメージ」や「ブランディング」のヒアリングを行い、“香りのコンサルティング”からフレグランス制作・納品まで着手する。

ブランド名『Parfum
Ryukyu』に使用されるフレグランス瓶には、沖縄県内で廃棄された自動車の窓ガラスから生まれた琉球ガラス「mado」を採用（mado製品参考ページ
：https://ryukyu-glass.shop-pro.jp/?mode=grp&gid=2180737）。
環境問題や「琉球ガラス」という沖縄の文化継承にも尽力するとともに、サービス向上に努める
。

●製品へのこだわり
フレグランスボトルから装飾にいたるまですべてがハンドメイド。

装飾には名古屋の老舗店にてすべて手作業で作られた歴史ある房紐を採用。
きめ細やかな上質な糸を紡いだ房紐は、思わず触れたくなるような愛らしさを兼ね備えている。

さらに特徴的なフォルムのフレグランスボトルは、
沖縄県内の廃ガラスを再利用し、職人が一つひとつハンドメイドで制作した琉球ガラスを採用。

また、フランスではフレグランスを「生きた芸術」と呼ばれており、その目には見えない芸術＝

香りを表現するには、感性と創造性が大切であると考えており、自然豊かな沖縄の海と森に囲まれた「沖縄科学技術大学院大学 OIST」を拠点にし制作しています。
1滴のわずかな量の変化、温度、湿度、その他の外部環境のにおいなどに大きく左右されやすい調香作業において、それらの影響に左右されにくく、安定して調香を行えるよう液体専門のラボにて制作をおこなっています。

●販売概要
・販売開始： 2021年10月24日
・販売方法：公式webサイトにて販売。
https://11201.co.jp/
■ルームフレグランスページ
https://11201.co.jp/product-category/room-fragrance/
※オリジナル3種・もしくはオーダーメイドよりカスタムのフレグランスが製作できます

●商品について
・商品名：ルームフレグランス「Parfum Ryukyu」
・容量 ：200ml
・価格 ：オリジナル ：14,800円（税込） 送料無料
オーダーメイド：19,800円（税込） 送料無料
※使用する香料 / 濃度によって価格変動あり

■概要
会社名 ：株式会社いいにおい
設立 ：2021年10月1日
所在地 ：沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1 Innovation Square Incubator
事業内容：フレグランスの製造および販売に関する事業
香りの空間演出およびコンサルティング事業
代表者：代表取締役社長 山城 遥奈

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com